

地域スポーツクラブの 子ども及び保護者の満足度と期待度に影響を及ぼす要因

湯浅 真由香 (競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース)

指導教員 小笠原 悦子

地域スポーツクラブ 満足度 期待度

1. 緒言

文部科学省 (2001)は、国民の誰もがそれぞれにスポーツを親しむことができる「総合型地域スポーツクラブ」を設立した。中川 (2009)は、地域サッカークラブの子どもとその保護者のクラブ運営(コーチに関する局面、チームに関する局面、社会教育に関する局面)の満足度を検証している。しかし、地域スポーツクラブにおいて、運営していく人材として子どもに直接指導を行っている指導者の特性や指導方針は明らかにされていない。

本研究の目的は、総合型地域スポーツクラブの1) 指導者の特性や指導方針を明らかにすること、2) 子ども及び保護者の運営局面の満足度と期待度(技術的期待、道徳的期待、対人関係的期待)を明らかにすること、3) 子ども及び保護者の運営局面の満足度と期待度を競技別に分類し、その差を検証することであった。

2. 研究方法

【調査対象者】BIWAKO SPORTS CLUB(BSC)の会員である子ども(71名)、保護者(61名)、指導者(18名)の計150名であった。種目はバスケットボール、陸上、サッカーであった。

【調査方法】質問紙によるアンケート調査。

【分析方法】1) 指導者の特性を明らかにするために、Chelladurai (1993)によって提起されているリーダーシップ多次元モデル(LSS)を用い、各指導者のリーダーシップ行動5局面の平均値、標準偏差を算出した。

2) 子どもと保護者の個人的属性を明らかにするため、人口統計的特性(21項目)に関して

は単純集計を行った。また、子どもと保護者の満足度と期待度の差の検定のために、t検定及び一元分散分析を行った。

3. 結果と考察

1) BSCの指導者において、礼儀面(挨拶など)を重視する指導者が多いことが明らかとなった。また、小学生を対象とした指導であるためLSSの質問項目を編集し、検討を行った。指導者のリーダーシップ行動5局面の内、「積極的フィードバック」が最も値が高く、「権威的行動」が最も低い値を示した。よって、BSCの指導者は、個人の権威を強調する姿勢は少なく、良いパフォーマンスの承認や賞賛によって指導するコーチング行動をもっていることが明らかとなった。

2) クラブの運営局面別の満足度では、全ての局面において、子どもと保護者の間で有意な差が見られた。また、子どもの運営局面別の満足度においては、「コーチは選手に対して公平に指導してくれる」の項目が最も低い値を示した。よって、指導者は、子どもに対して公平に接する努力が必要であることが示唆された。クラブに対する期待度では、子どもは技術面に対する期待が最も高く、一方、保護者は道徳的な面に対する期待が最も高いことが明らかとなった。よって、指導者は、技術的な指導はもちろん、子どもの道徳的な発達を促す指導が必要であると示唆された。

3) 競技別の子どものクラブ運営局面の満足度では、全ての局面において、3つの競技種目間で有意な差が見られた。